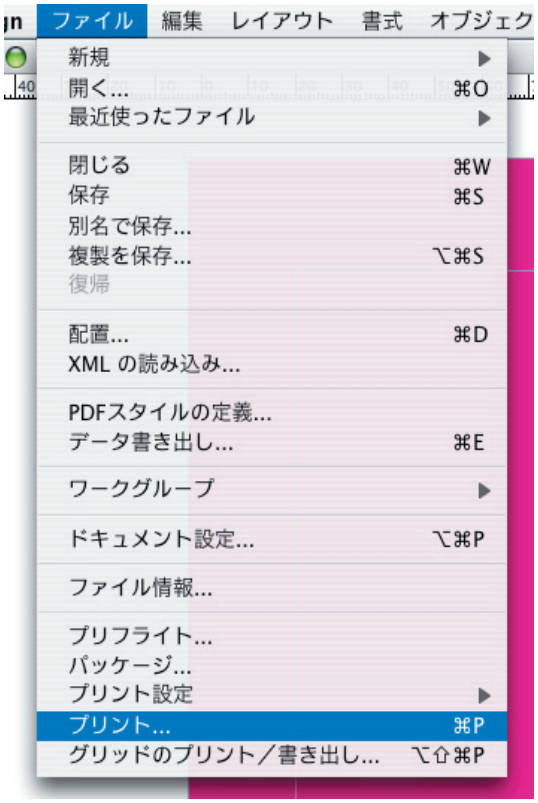
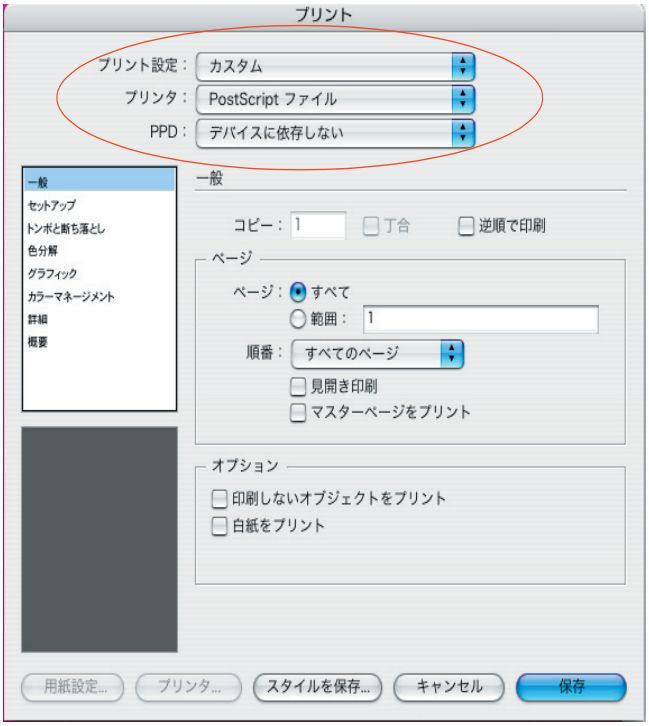
InDesign 2.0 日本語版 PS ファイルの作り方

■「デバイスに依存しない」PS ファイルを書き出す



InDesign 日本語版では、「デバイスに依存しない」PS ファイルの書き出しをお勧め致します。

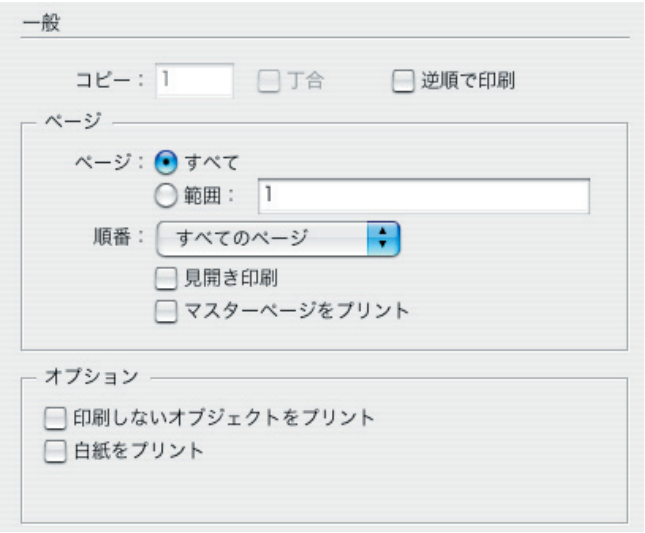
※ InDesign1.0 にあった「プリプレスファイルの書き出し」の項目はありません。
左図のように「ファイル」ー「プリント」から PS ファイルを書き出します。



「プリント」を選択すると左図のプリントダイアログがあらわれますので「プリンタ」を「PostScript ファイル」、「PPD」を「デバイスに依存しない」に設定します。

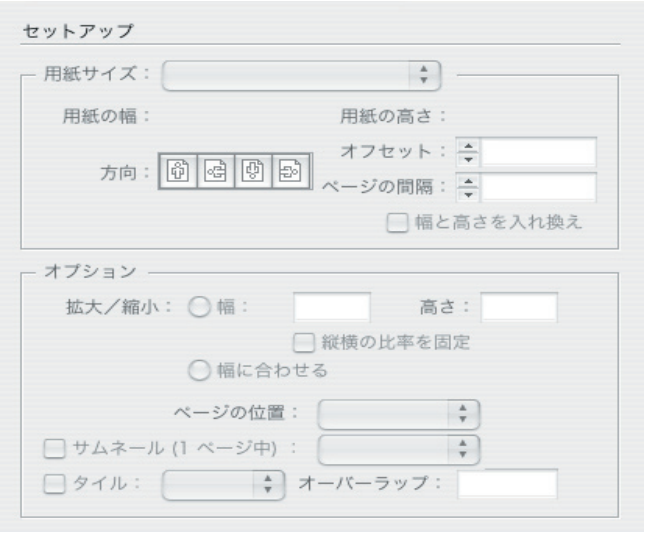
以下設定項目について解説します。

［1/7］一般



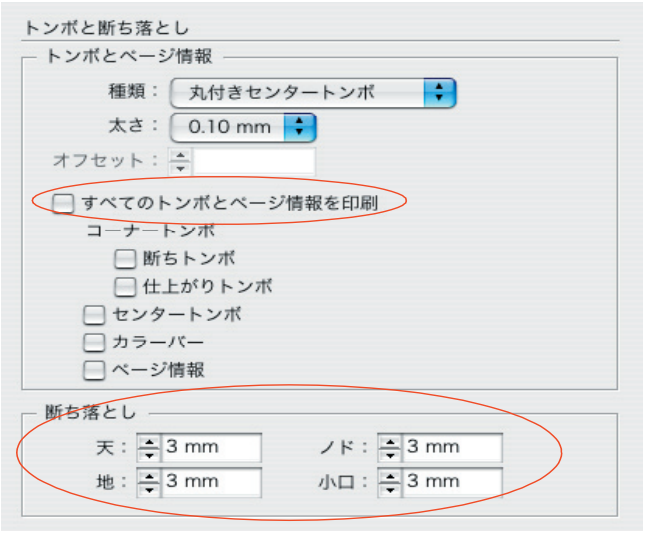
特に設定する項目はありません。

［2/7］セットアップ



（設定出来ません）

［3/7］トンボと裁ち落とし



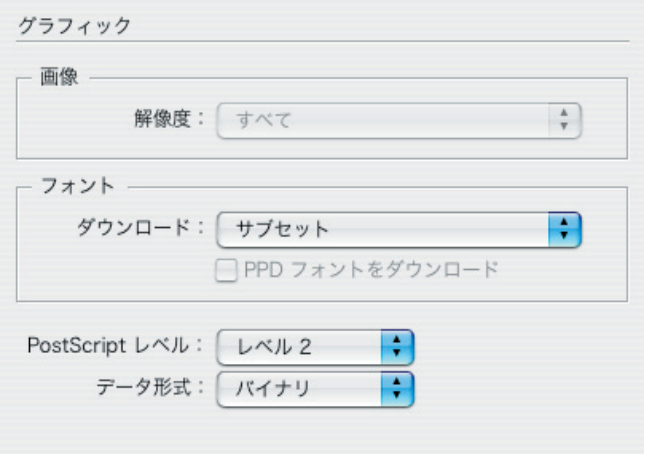
「トンボとページ情報」のチェックボックスにはチェックしないでください。

裁ち落としは必要な分だけ設定してください。
裁ち落としを適切に設定しないと、裁ち落とし分のデータが出力されません。

［4/7］色分解

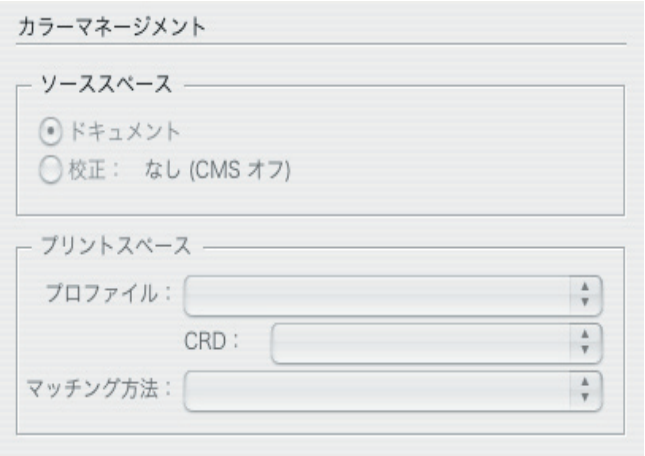
必要に応じて設定します。

［5/7］グラフィック



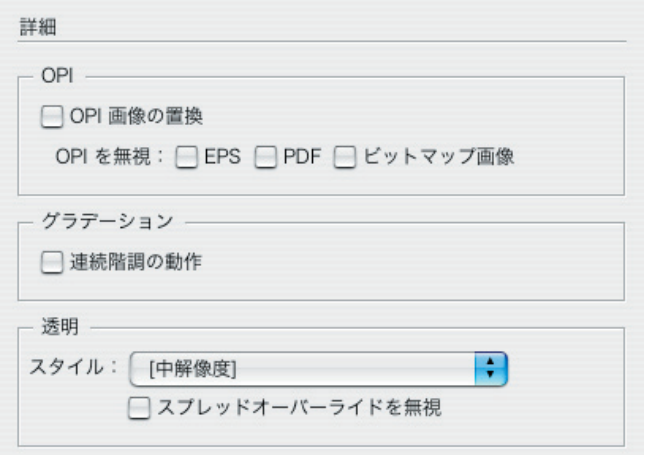
PostScript のレベルは「2」、データ形式は「バイナリ」に設定します。

［6/7］カラーマネージメント



（設定出来ません）

［7/7］詳細



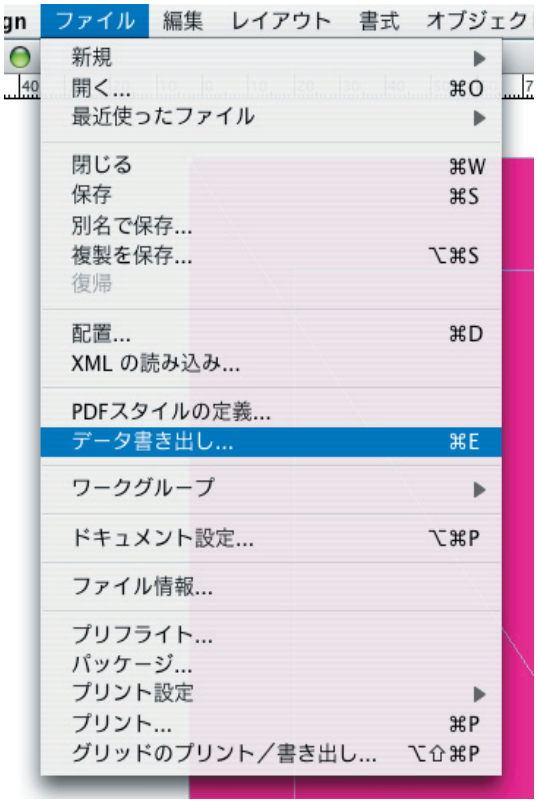
必要に応じて設定します。

以上で設定は終わりです。「保存」をクリック PS ファイルを保存してください。

※ファイル名には末尾に「.ps」か「.PS」を拡張子として付加してください。
拡張子を付けないと X-Plate で面付け対象ファイルとして認識出来ません。

InDesign 2.0 日本語版 PDF ファイルの作り方

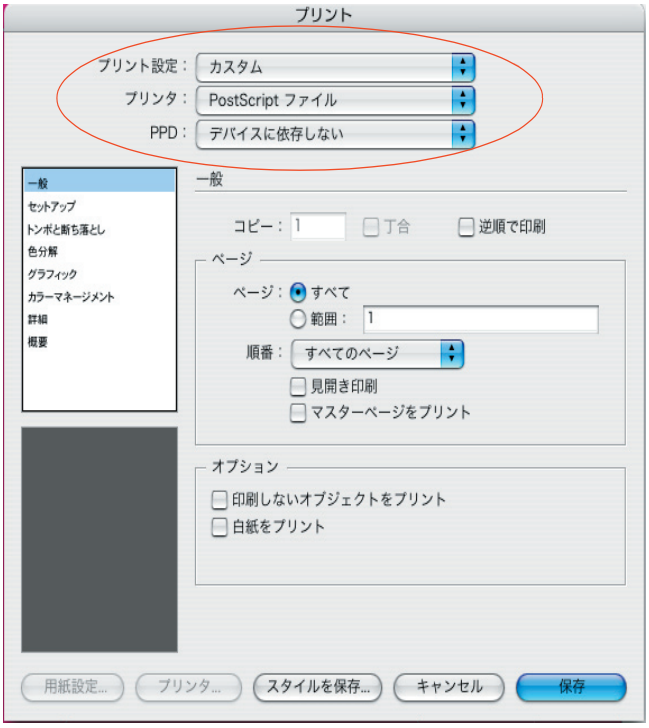
■ PDF ファイルを書き出す



InDesign 日本語版では「ファイル」ー「データ書き出し」から直接 PDF ファイルを作成することが出来ます。

「データ書き出し」を選択すると、「書き出し」ダイアログがあらわれます。
「形式」を「Adobe PDF」とし保存するフォルダとファイル名を決めて「保存」をクリックします。

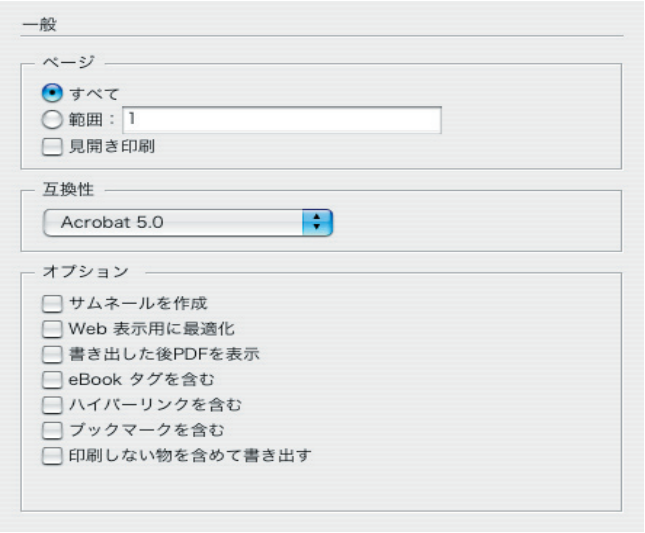
※ファイル名には末尾に「.pdf」か「.PDF」を拡張子として付加してください。
拡張子を付けないと X-Plate で面付け対象ファイルとして認識出来ません。



左図の PDF 書き出しダイアログがあらわれます。
各項目については以下で詳しく解説します。

以下設定項目について解説します。

［1/5］一般

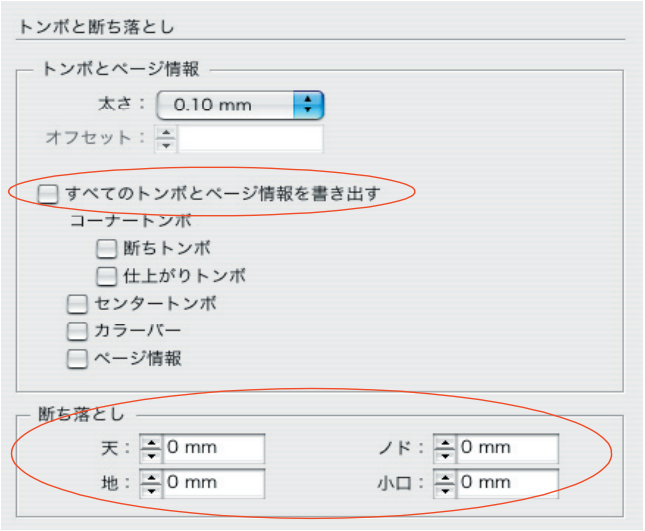


オプションのチェックボックスのチェックは全て外します。

［2/5］圧縮

使用環境に応じて設定します。

［3/5］トンボと裁ち落とし

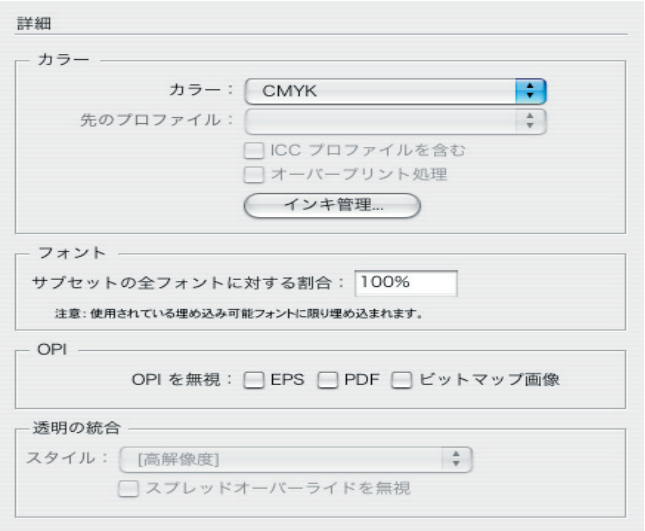


「トンボとページ情報」のチェックボックスにはチェックしないでください。

裁ち落としは必ず各辺 0mm に設定してください。裁ち落としを 0mm 以外にすると、面付け時にページがずれます。

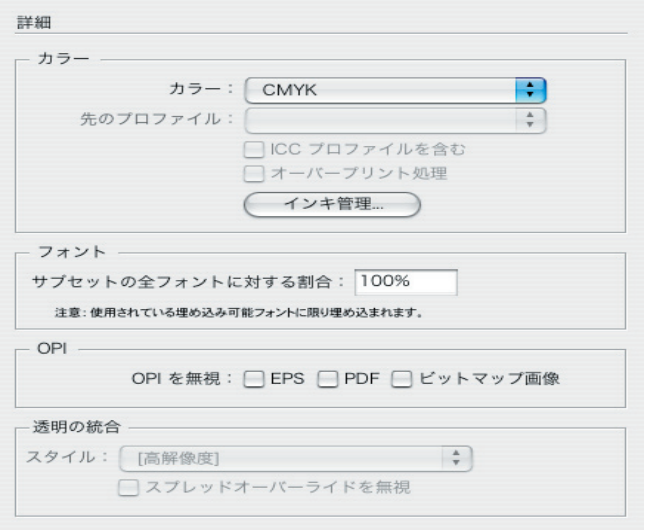
裁ち落としを 0mm にしても、FACILIS 側で裁ち落としを設定すれば裁ち落とし部分のデータが出力されます。

［4/5］詳細



必要に応じて設定します。

［5/5］セキュリティ



セキュリティは設定しないでください。

設定した場合、X-Plate,X-PlatePDF で
面付けすることが出来なくなります。

以上で設定は終わりです。「書き出し」をクリックして PDF ファイルを書き出してください。